

# DENKA

## 2010年度 決算説明会



2011年5月10日

高い技術力で「資源」から「価値あるモノ」を生み出す企業

# はじめに

## 2010年度 事業環境

緩やかな回復基調を辿っていたが、後半になり中東・北アフリカ情勢の悪化や円高が進行。加えて3月11日には東日本大震災が発生。

## 2010年度 決算

震災の影響による一時的負担の発生

- ・営業利益 ▲ 9 億円（電材等での機会損失、直前見込比約20億円の売上減少）
- ・特別損失 ▲ 3 億円（プラント停止・復旧費用や津波による原料流出等）

があったが、決算としては、CR他の有機系素材が好調であったことや電子材料の伸長により、連結営業利益 246 億円と、予想の250 億円に近い水準を確保。

## 2011年度 業績予想

需要家の被災や自動車関連産業の生産減など、現在判明している、直接的な影響が予想されるもののみ織り込んだ。

# 東日本大震災の影響

## 決算・業績予想に織り込んだ震災等による影響 (単位:億円)

### 営業利益

	(2010年度)	(2011年度)
①販売数量減(東北地区電材ユーザーの被災など)	▲ 7	▲ 4
②プラント停止等による機会損失	▲ 1	▲ 1
③計画停電・電力制限対応等に伴うコストアップ	▲ 1	▲ 1
計	▲ 9	▲ 6

### 税引前利益

①特別損失		
プラント停止関連費用・修繕費・津波による原料流出等	▲ 3	
②営業外損失		
プラント停止関連費用・修繕費等		▲ 1
===== 計	▲ 12	▲ 7

# 2010年度 決算概要(その1)

単位:億円

	2010年度	2009年度	増減率	主 な 要 因
				(増減額)
<b>売上高</b>	<b>3,579</b>	<b>3,239</b>	<b>10.5%</b>	有機系素材 33
(海外売上高割合)	(27.4%)	(24.3%)	↗	無機系素材 8
				電子材料 21
				機能・加工製品 ▲37
				その他・消去 4
<b>営業利益</b>	<b>246</b>	<b>217</b>	<b>13.7%</b>	← 30
(営業利益率)	(6.9%)	(6.7%)	↗	持分法投資利益増 10
				退職給付会計変更時差異償却終了 11
				その他 12
<b>経常利益</b>	<b>231</b>	<b>169</b>	<b>36.5%</b>	← 62
				特別損失 ▲10
				法人税等(税効果調整後) ▲13
<b>当期純利益</b>	<b>144</b>	<b>105</b>	<b>37.1%</b>	← 39

# 2010年度 決算概要 (その2)

単位:億円

## 1.総括

(前年同期比)

売上高 **3,579** (+340)

①数量差:有機系素材(CR・シンガポール)・電材他出荷増 (+217)

②価格差:石化系原燃料高騰 → 製品価格に転嫁 (+123)

営業利益 **246** (+30)

①数量効果:売上高数量差 217 × 平均限界利益率 45% (+98)

②交易条件悪化:原燃料高騰 ▲180 > 製品価格+123 (▲57)

③負担増:需要増対応に伴う償却費・修繕費・人件費等 (▲69)

④在庫の影響 [2009年度(-)40 → 2010年度(+ )30] その他 (+58)

## 2.特記事項

①拡販・需要増:CR・電子材料・DXフィルム・トヨカロンなど

②事業構造変革:スチレン系(国内・シンガポール)収益安定化

③高分子ヒアルロン酸製剤新プラント品投入

素材対加工型利益構成:2009年18:82 → 2010年33:67

# 2010年度 決算概要 (その3)

単位:億円

売上高	2010年度	2009年度	増減	販売価格差		数量差	コスト差等
				販売価格差	数量差		
有機系素材事業	1,564	1,316	248	145	103		
無機系素材事業	486	490	▲ 4	▲ 3	▲ 1		
電子材料事業	469	390	80	▲ 12	92		
機能・加工製品事業	730	715	14	▲ 7	21		
その他事業	330	328	2	—	2		
合計	3,579	3,239	340	123	217		
営業利益	2010年度	2009年度	増減	販売価格差		数量差	コスト差等
				販売価格差	数量差		
有機系素材事業	50	17	33	145	35	▲ 147	
無機系素材事業	30	23	8	▲ 3	2	8	
電子材料事業	85	64	21	▲ 12	54	▲ 21	
機能・加工製品事業	72	109	▲ 37	▲ 7	5	▲ 35	
その他事業	9	6	2	—	2	0	
消去差	1	(-) 1	2	—	—	2	
合計	246	217	30	123	98	▲ 191	



# 2011年度 業績予想 (その1)

単位:億円

前提条件	2011年度 予想	2010年度 実績	2009年度 実績
為替レート [円/\$]	83.0	85.7	92.9
国産ナフサ [円/Kg]	62,000	47,450	41,175

2011年度 第2四半期 予想	2010年度 第2四半期 実績
83.0	89.0
62,125	46,200

参考数値	2011年度 予想	2010年度 実績	増減
設備投資額	220	213	7
減価償却費	230	223	7
研究開発費	110	98	12
有利子負債残高	1,100	1,146	△ 46

2011年度 第2四半期 予想	2010年度 第2四半期 実績	増減
110	87	23
115	109	6
55	49	6
1,130	1,233	△ 103

# 2011年度 業績予想 (その2)

単位:億円

2011年度は CS13 の初年度として、  
売上高・営業利益・経常利益・純利益すべてで過去最高更新を目指す。

	2011年度 予 想			2010年度 実 績		
		4~9月	10~3月		4~9月	10~3月
売上高	4,140	1,930	2,210	3,579	1,767	1,822
営業利益	320	130	190	246	126	120
(営業利益率)	(7.7%)	(6.7%)	(8.6%)	(6.9%)	(7.1%)	(6.6%)
経常利益	310	125	185	231	116	115
当期純利益	180	75	105	144	77	67



# 2011年度 通期業績予想 (その3)

単位:億円

## 1.総括

(前年度比)

売上高 4,140 ( + 561 )

①数量差:CR・電子材料・高分子ヒアルロン酸製剤等伸長 ( +325 )

②価格差:原燃料高騰 → 製品価格に転嫁(石化系製品・CR) ( +236 )

営業利益 320 ( + 74 )

①数量効果:売上高数量差 325 × 平均限界利益率 32% ( +103 )

②交易条件:改善(CR など) > 悪化(電材・石化系タイムラグ) ( 9 )

③負担増:需要増対応に伴う償却費・人件費等 ( ▲ 13 )

④在庫の影響 [ 2010年度 (+) 30 → 2011年度 (+) 14 ] その他 ( ▲ 25 )

## 2.特記事項

①需要増:過去最高の出荷を見込む CR・電材(シリカフィラー・包材  
放熱製品・蛍光体他)・DXフィルム・高分子ヒアルロン酸製剤など

②CS13 初年度(素材の安定収益+電材・機能加工の伸長)

素材:加工型利益構成 2010年 33 : 67 → 2011年 36 : 64

# 2011年度 業績予想 (その4)

単位:億円

売上高	2011年度	2010年度	増減	販売価格差	数量差	
有機系素材事業	1,906	1,564	342	208	134	
無機系素材事業	499	486	13	6	7	
電子材料事業	549	469	80	▲14	94	
機能・加工製品事業	821	730	91	36	55	
その他事業	365	330	35	—	35	
合計	4,140	3,579	561	236	325	

営業利益	2011年度	2010年度	増減	販売価格差	数量差	コスト差等
有機系素材事業	79	50	29	208	22	▲201
無機系素材事業	38	30	8	6	1	1
電子材料事業	114	85	29	▲14	55	▲12
機能・加工製品事業	79	72	7	36	25	▲54
その他事業	10	9	1	—	—	1
消去差	—	1	▲1	—	—	▲1
合計	320	246	74	236	103	▲265



# DENKA100 と成長分野でのクラスター戦略（その1）

数値目標：2015年度の最終目標

連結営業利益：**600** 億円 以上

営業利益率：**10%** 以上

事業区分	2010年度 実績	2011年度 予想	2013年度 CS13	2015年度 DENKA100
電子材料	85 (34%)	114 (36%)	170 (38%)	210 (35%)
機能・加工製品	72 (29%)	79 (25%)	120 (27%)	160 (27%)
有機・無機系素材	80 (33%)	117 (36%)	150 (33%)	180 (30%)
新製品・新事業創出 及びその他事業	9 (4%)	10 (3%)	10 (2%)	50 (8%)
合計	246 (100%)	320 (100%)	450 (100%)	600 (100%)



# DENKA100 と成長分野でのクラスター戦略（その2）

## 事業展開

- 電子材料および機能・加工製品事業へのより一層の注力  
（LED・LiB・太陽電池・FPD等成長分野でのクラスター戦略推進）
- CR・医薬品の確実な拡大
- 素材部門の安定利益確保と次の100年を見据えた基礎固め
- 成長地域での展開強化
- 新製品・新事業の積極的な模索

## 研究開発と生産技術

- 研究開発体制の見直し（中央研究所の機能強化他）
- 環境負荷低減徹底・品質向上・生産技術改善など
- 人材育成

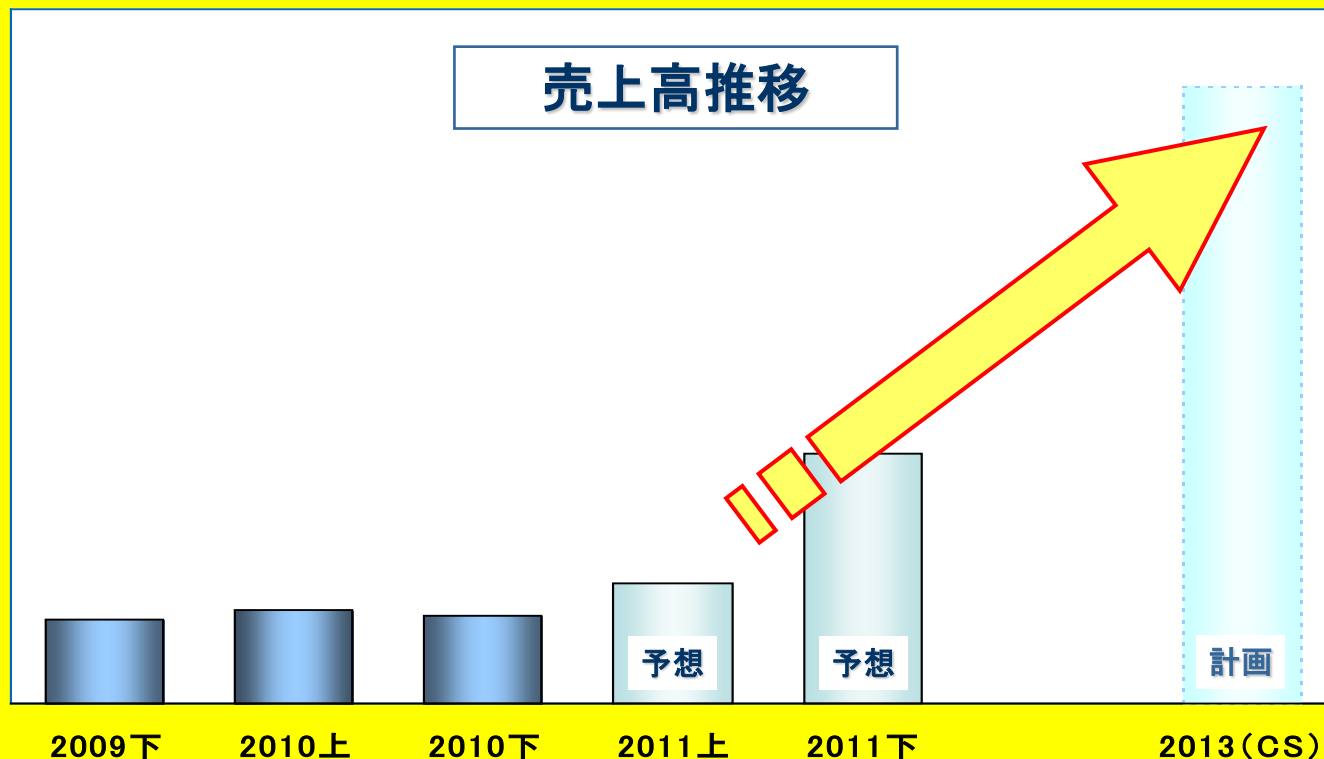
## 100周年記念投資

総額100億円規模の「記念投資」

- 青海工場水力発電所の整備・強化、中央研究所本館新築、社宅・独身寮等整備、工場環境整備など



## LED用サイアロン蛍光体



2011年度はLEDバックライトTV用に海外有カユーザーからの引き合い急増  
デファクトスタンダード化・バックライト用途でのさらなるシェアアップ・照明用途への展開



## リチウムイオン二次電池用材料の開発

### エネルギー分野

次世代製品研究の中でも特に重点を置く分野であり、とりわけリチウムイオン電池向け材料の開発は最も注力するテーマのひとつ。

### 共同開発

スピードを重視し有力なパートナーと組む

○三菱マテリアル社と共同で事業化

電炉ガスを用いた低コストCNF(カーボン・ナノ・チューブ)の開発

○エス・イー・アイ社との共同開発

LFP(リン酸鉄リチウム)・カーボン 複合系の正極材料の開発

### 当社の強み

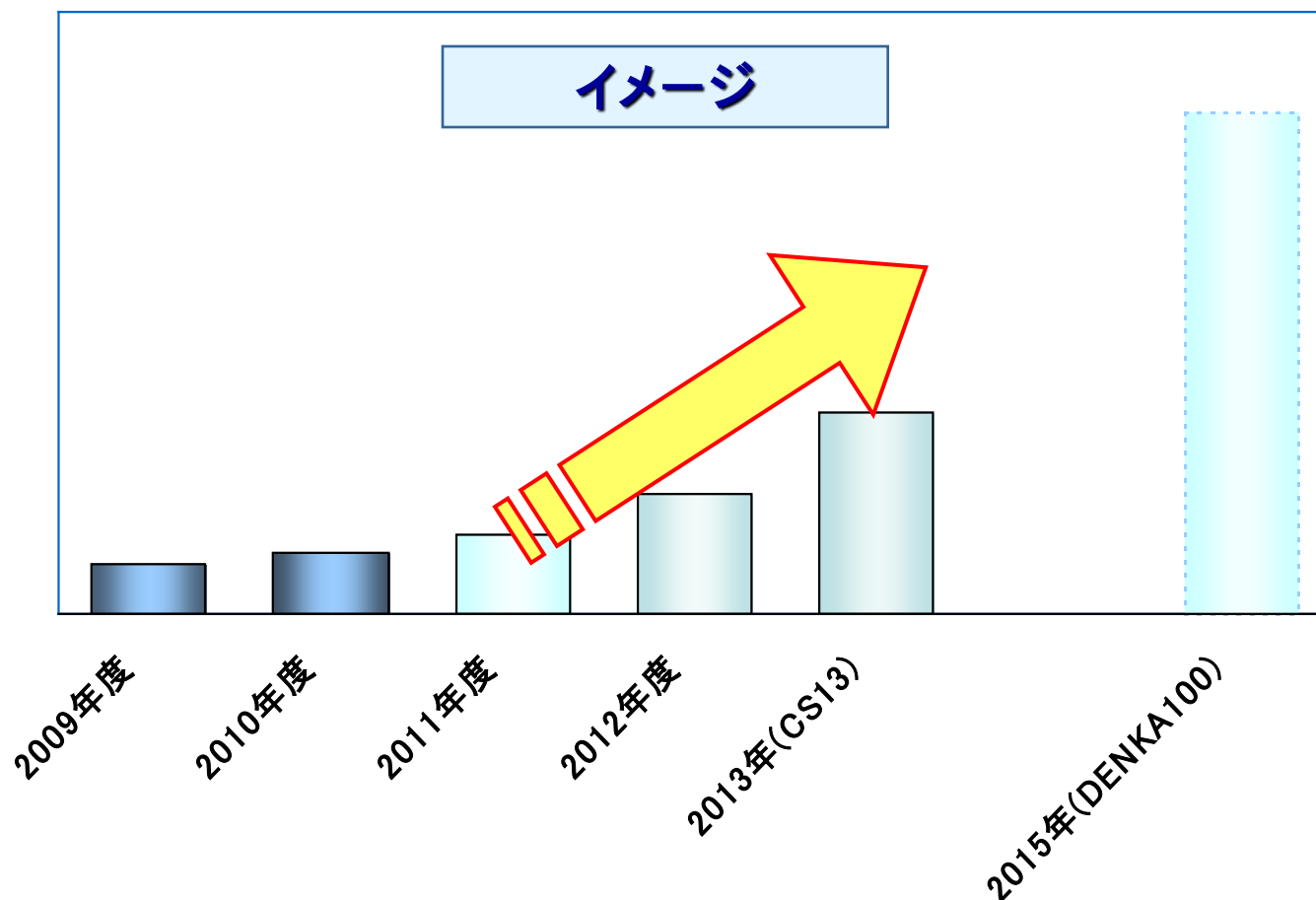
当社創業のビジネスで長年100年近く培ったカーバイド電炉技術  
そのカーバイド・アセチレンからつくる導電性高純度アセチレンブラック





# DENKA100 と成長分野でのクラスター戦略（その5）

## リチウムイオン電池関連製品売上高



アセチレンブラック・CNF関連・LFP関連その他



## DENKAとしての企業活動とは

### 企業活動

**事業活動**

利益の追求

**品質・安全・  
環境・法令**

従業員・株主・取引先・  
地域などへの誠実な対応

大きな目標への挑戦

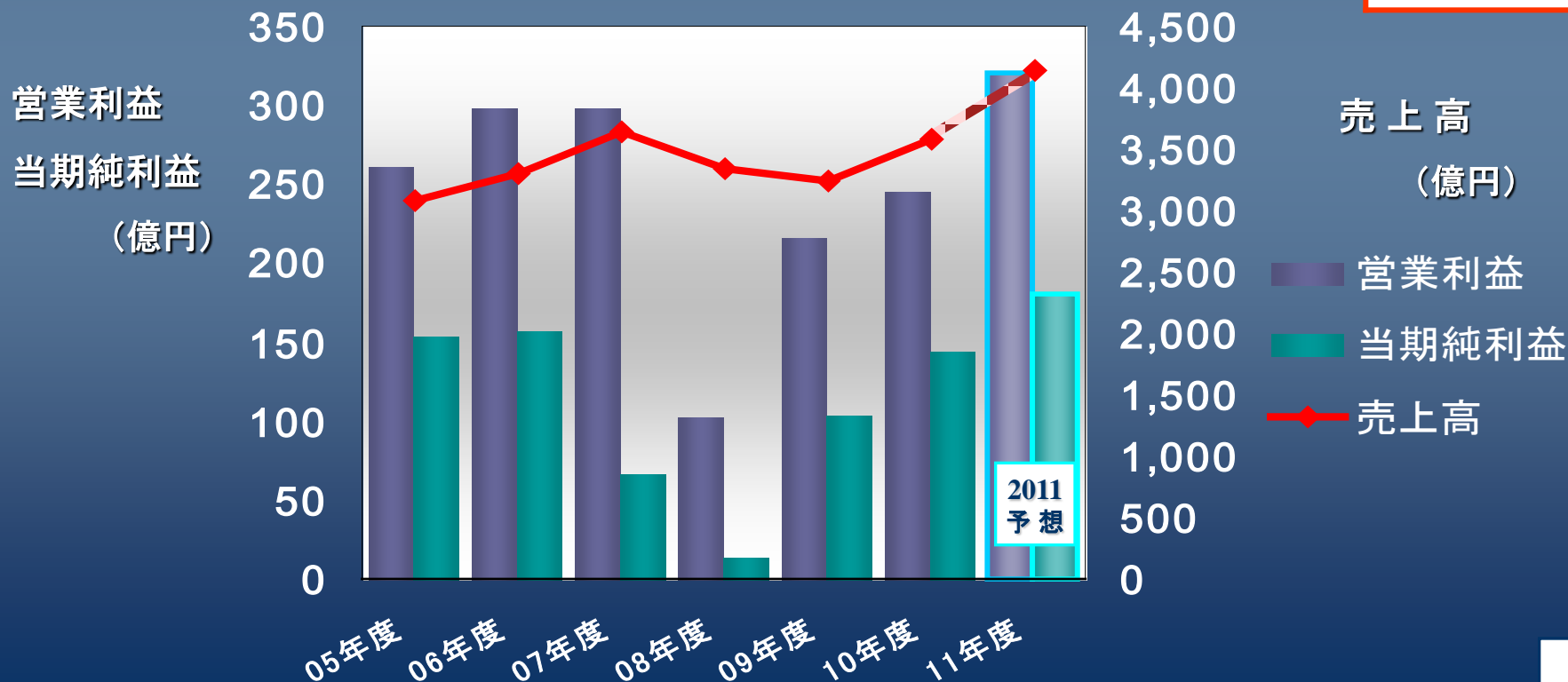
企業が永続的に活動を継続するための行動指針

# 2005～2011年度 業績推移

単位:億円

2011年度は売上高・営業利益・経常利益・純利益すべてで過去最高更新を目指す。

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 予想
売上高	3,079	3,293	3,640	3,341	3,239	3,579	4,140
営業利益	261	299	299	103	217	246	320
当期純利益	154	157	67	14	105	144	180



## 業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。